

2022年7月

富士電機株式会社

MICREX-SX シリーズSPH5000EC 系 診断機能付き CPU モジュール発売のお知らせ

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、富士プログラマブルコントローラをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、MICREX-SX シリーズ SPH5000EC 系 診断機能付き CPU モジュールを発売しますのでご案内いたします。

敬具

- 記 -

**1. 発売開始機種**

## (1) SPH5000EC 系 診断機能付き CPU モジュール 本体

名称	形式 (商品コード)	仕様概要	
SPH5000EC系 診断機能付き CPU モジュール	NP1PA1C- 512A	プログラムメモリ 512K ステップ	・一般仕様および性能仕様は NP1PA1C- 256E, NP1PA1C-512E と同等
	NP1PA1C- 256A	プログラムメモリ 256K ステップ	・MSPC 機能 (診断モデル生成、異常診断) (注1)

注1) Multivariate Statistical Process Control (多変量統計的プロセス管理)

## (2) プログラミング支援ツールのサポートバージョン

名称	形式 (商品コード)	仕様概要
SX-Programmer Expert(D300win) (注2)	NP4H-SEDBV3	IEC61131-3 準拠プログラミングツール 対応バージョン: V3.7.2.以降 (注3)

注2) プログラミング支援ツール Standard での対応は予定しておりません。

注3) プログラミング支援ツール Expert(D300win) V3.7.2 リリースは 2022 年 7 月下旬を予定しています。

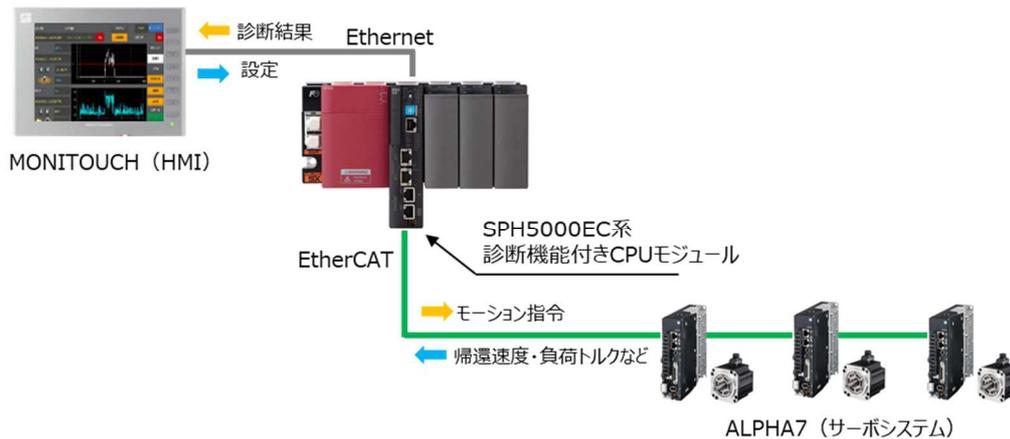
**2. 発売開始時期**

受注開始: 2022 年 7 月 6 日 (出荷開始は受注後 3 カ月)

### 3. 製品概要

SPH5000EC 系 診断機能付き CPU モジュールは、SPH5000EC のシーケンス・モーション制御機能に加えて、アナリティクス・AI（MSPC）による異常診断が可能なモジュールです。システムの正常時のデータ（診断モデル）と稼働中のデータの差異を解析し、乖離を異常としてリアルタイムに検知することや、原因分析を行うことができます。2 つのアプリケーション制御部を持っており、1 台の CPU モジュールで機械制御を行うアプリケーション動作に影響をあたえず異常診断が可能です。

また、ALPHA 7（サーボシステム）と組み合わせ、センサレスで異常を検知することや、MONITOUCH（HMI）との連携により容易に診断結果の見える化を実現できます。



#### 【SPH5000EC 系 診断機能付き CPU モジュールを使用したシステム構成例】

注) 一般仕様、外観・外形仕様および、その他の性能仕様は SPH5000EC NP1PA1C-512E、NP1PA1C-256E に準じます。

詳細はユーザーズマニュアル EtherCAT マスタコントローラ SPH5000EC（FH336）を参照ください。

注) 本製品の MSPC による診断機能を効果的に活用するためには、対象システムに適したエンジニアリングが必要です。導入を検討される場合には、弊社営業まで相談ください。

### 4. 販売価格(単位：円 税抜)

手配形式	仕様		納期	希望小売価格
NP1PA1C-512A	プログラムメモリ 512K ステップ	ユーザ ROM/USB/Ethernet(1000BASE-T)対応 最大入出力点数 73,728 点 EtherCAT ポート 1 系統 MSPC 機能 (診断モデル生成、異常診断)	在庫品	オープン
NP1PA1C-256A	プログラムメモリ 256K ステップ		在庫品	オープン

※加工装置向け富士モーションシステム異常診断ソリューション カタログ（22B1-J-0039a）

（Fe Library に PDF データ掲載済）